

第3回 補助26号線沿道地区 街づくり懇談会の開催概要（続き）

アンケートの意見（要旨）

●沿道街づくりについて

- ・今までどおり、静かな住宅街を保ってほしい。
- ・交差点周辺は、商店中心の街づくりでも良いと思う。
- ・防災面等、安全・安心に暮らせる街づくりを進めたい。

●道路整備について

- ・幹線道路ですので、早く進めてほしい。
- ・静かな住宅地に大きな道路が出来るので、騒音や振動が心配である。

●街づくり懇談会について

- ・模型が出来たことにより、議論が活発になり効果があった。
- ・今の街の良さを維持したいとの気持ちで、前向きな意見が多かった。

街づくりアドバイザーからのコメント

街づくりアドバイザー

寺内義典 教授
（国士舘大学）

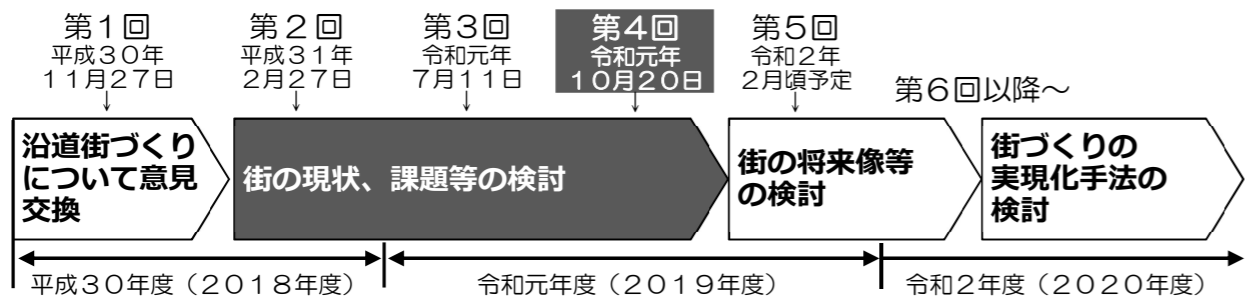


模型により、皆さんが同じイメージの中で議論が出来ていたように感じます。個人的には、模型を見て、トンネル部分での防犯面が心配だと思いました。

また、「地域の思い出の緑を残したい」等の緑に関する意見が非常に特徴的でした。東京都と区、それぞれが役割分担しながらしっかりと考えていただきたいテーマだと思います。

今後の懇談会では、用途地域を変更する場合のシミュレーションを提示できると、より議論を深められると思います。

『補助26号線沿道地区街づくり懇談会』の進め方イメージ



●これまで開催した「補助26号線沿道地区街づくり懇談会」の資料や「街づくりニュース」は、世田谷区のホームページからご覧いただけます。

●北沢タウンホール11階 北沢総合支所街づくり課にお越しいただければ、ご提供いたします。

<お問い合わせ先>

世田谷区 担当：岡崎、高安、北島、伊藤
北沢総合支所街づくり課 電話：03-5478-8073 FAX：03-5478-8019

目黒区 担当：鎌瀧、渡部
都市整備部都市整備課 電話：03-5722-9714 FAX：03-5722-9239

補助26号線沿道地区

令和元年9月

発行：世田谷区北沢総合支所街づくり課
目黒区都市整備部都市整備課

街づくりニュース 第4号

日頃から、世田谷区及び目黒区の区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。世田谷区と目黒区では、東京都による都市計画道路幹線街路補助線街路第26号線（以下「補助26号線」といいます。）の都市計画事業を契機に、地区の街並みが変わることから、地域の皆様と沿道の将来像を考える「補助26号線沿道地区街づくり懇談会」を開催しています。

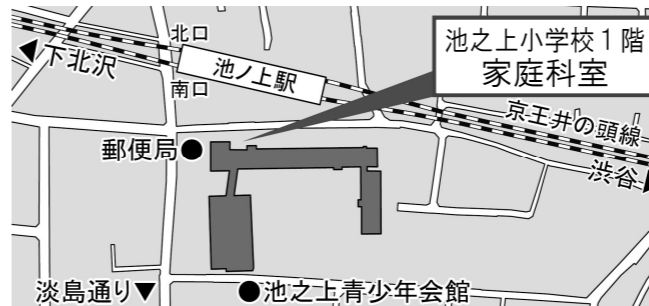
この度、「第4回補助26号線沿道地区街づくり懇談会（街歩き）」を開催することになりましたので、是非ご参加ください。

この「街づくりニュース」は、補助26号線沿道地区（三角橋交差点～淡島通りの区間で、都市計画道路計画線からおおむね30mの範囲）にお住まいの方と土地や建物を所有する方のほか、個別にご希望いただいた方に、配布・郵送しています。

第4回補助26号線沿道地区街づくり懇談会では、「街歩き」を行います。

■日時
令和元年 10/20(日)
9:30~12:30
(集合時間 9:30)

■集合場所
世田谷区立
池之上小学校 1階 家庭科室
(代沢2-42-9)



■「街歩き」の内容

補助26号線沿道地区を、皆様と一緒に歩き、気が付いたことをまとめ、沿道の将来像について検討します。

※歩きやすい服装、靴でご参加ください。
※雨天決行/荒天中止

どなたでもご参加いただけます。
事前予約は不要です。
当日、直接集合場所へお越しください。



第3回 補助26号線沿道地区 街づくり懇談会の開催概要

【日時】令和元年7月11日（木） 18:30~20:30

【会場】北沢タウンホール12階 スカイサロン 【参加者】38人

●第2回街づくり懇談会の振り返り

区から、平成31年2月27日に開催した第2回街づくり懇談会での意見交換やアンケートの意見（要旨）を説明しました。

また、第2回街づくり懇談会でいただいたご意見やご質問について、東京都からの回答の紹介と、区からの回答を行いました。

●模型の確認

区が製作した補助26号線沿道地区の模型の周りに集まり、道路の線形や高低差の状況などを確認し合いました。

●意見交換

意見交換では、参加者の皆様に、お住まいの地域（京王井の頭線の北側・南側）によって、4つのテーブルに分かれていただき、各テーブルで「沿道の将来像」をテーマにお話いただきました。

各テーブルでは、補助26号線の道路計画線の位置を示した図面に、各自のご意見やご質問をご記入いただいた「付せん紙」を貼り、意見交換を行いながら整理しました。

最後に、各テーブルで出されたご意見やご質問を、全体で発表し、参加者全員で共有しました。



意見交換における主なご意見・ご質問

●沿道街づくりについて

- 住宅地としての今の状況は変わらないようにしてほしい。
- 住居が大多数で居住者が多い現況を踏まえると、「静穏な住宅地域の更なる充実・発展」を望む。用途地域の変更は不要ではないか。
- 交差点付近は店も必要ではないか。それ以外は住宅地として保全してほしい。
- 地権者住宅などには、少し緩和をしてほしい。
- 沿道の用途地域は、建て替えしやすいよう1ランク緩和を希望する。
- 建物の高さのある程度高くし、低層部には学習塾やクリニック等が立地できるようになるとよい。
- 道路ができて交通至便な地域になったら、新しい住宅地として開発される可能性もでてくる。マンションが立ち並ぶ地域にもなり得る。
- どのような街に将来なったらよいかは、若い次の世代の思いも尊重されるべきである。

●道路整備について

- 淡島通りと交差する北西部は、工事期間中に自家用車が通れなくなるため、どのように対応されるのか確認したい。
- 工事期間中も道路完成後も騒音・振動の対策をしっかりしてほしい。
- 広い道路が出来ると駐停車が多くなるため対策が必要である。
- ポイントは東西の横断。できるだけたくさんの横断箇所がほしい。
- 高齢者や車いす、子どものために、歩道橋ではなく横断歩道で横断できるようにする必要がある。
- 高齢者や子どもが安全に横断できるように青信号の時間に配慮してほしい。
- 道路の両側に桜の木を植えてほしい。
- 地域で育てていく花壇を作ってほしい。

●具体的な場所に関するご意見・ご質問について

東京大学出入口付近

- 広域避難場所である大学へのアクセスがしにくくなるのか心配である。

北沢一丁目公園

- 北沢一丁目公園を大きくしてほしい。

補助26号線 掘割部分

- 歴史的に水害が起こりやすい場所であるため、豪雨対策が必要ではないか。

線路南側の国有地

- 旧国家公務員の土地を、立退きが必要な人の代替地として活用できないか。
- 公園などとして活用し、火災の延焼を防止する役割を持たせるのはどうか。

代沢東地区会館付近

- 横断歩道を確保してほしい。

補助26号線 副道

- 左右に行けるように副道を北側に延ばせないか。

淡島通り付近

- 淡島通りに出にくくなるので階段を使わずに出やすくしてほしい。
- 救急車が入れないので危険である。
- 子どもたちが安全に横断できるようにしてほしい。

三角橋交差点付近

- 学生も多く、横断時の安全対策が課題である。

補助26号線 東京大学付近

- 擁壁の圧迫感を緩和するような工夫（壁面緑化など）をしてほしい。

補助26号線 掘割の上空部分

- 池ノ上駅側から東側の住宅地へ行きにくくなるため、渡しがあるとよい。
- 掘割に蓋をかけて、公園にしてほしい。

都営代沢一丁目アパート付近

- クランク部分を一体的な交差点にしてほしい。
- 下代田児童遊園に渡る子どもたちが安全に横断できるようにしてほしい。

都営代沢一丁目アパート前

- 道路が傾斜しているため、上り坂を通過する車がエンジンをふかすことによる騒音が心配である。

補助26号線 淡島通り以南（三宿側）

- 南側の道路の開通に併せて、交通量の増加が心配である。



『第3回 補助26号線沿道地区 街づくり懇談会の開催概要』は、裏面に続きます。➡